

# 復興なみえ町十日市祭



11月23日、24日の2日間、二本松駅前周辺で復興なみえ町十日市祭が開催されました。

会場では、浪江小・中学校の児童生徒による発表やアスナロ幼稚園の園児によるお遊戯、大堀の神楽や請戸の田植え踊りなどの伝統芸能などが披露されました。

また、浪江焼麺太国のほか浪江町のお店6店が出店し、懐かしい味を求める町民らの列ができ、ふるさとを想い、再会を喜び合う多くの来場者でにぎわいました。



浪江小の全校児童による発表。



この日のために、アスナロ幼稚園の子どもたちが集まり、かわいらしいダンスを披露してくれました。



懐かしい味を求めて。

## 十日市祭

刈宿の浦安の舞



浪江小中学校の児童生徒の作品が展示されました。

浪江小の児童が大堀相馬焼作りに挑戦しました。

## ● 渋谷フェスティバルに ● 参加して



浪江町相馬流れ山踊り保存会は、11月3日、4日に渋谷区の東日本大震災復興支援イベントに参加させていただきました。

被災後、会員も各地に散り散りになり、故郷に帰ることができない日々の中で、「故郷を心の中で感じていたい。」みんながそんな思いで練習を再開し、復興祭や芸能祭等に参加させていただきました。

そんなとき、東京に避難していた会員の娘さんが渋谷区の企画を知り、いち早く渋谷区と福島県に働きかけていただき、復興祭にご招待いただきました。踊りを通して多くの皆さまに浪江町を感じていただき、心を通わせたい思いで参加しました。多くの浪江町出身の方々にお集まりいただき、感激しました。

今を大切にすることがより良い生活につながることを信じ、これからも心をひとつにして伝統を守り続けていきたいと思えます。一日も早い復興を願うとともに、若い世代へ伝統芸能の継承が叶う日が来ることを強く念じています。

浪江町相馬流れ山踊り保存会 副会長 高木 操子



## たすきに想いを込めて

11月18日、第24回ふくしま駅伝が開催され、白河市をスタートに県庁までの96.5km、16名の選手がふるさとへの想いを込めてたすきをつなぎました。

選手が全国各地に避難し、思うような練習ができない中、厳しい寒さやアクシデントもありましたが、総合33位、町の部14位の成績を残しました。

大会参加にご協力いただいた関係者の皆さま、沿道で応援してくださった皆さま、ありがとうございました。

## 笑顔いっぱい

10月12日、福島市内の「あづま温泉」敷地内において、福島地区なみえ交流会主催の「いも煮会」が開催され、懐かしい故郷の仲間67名が参加し、たくさんの笑顔の花が咲きました。

また、11月13日には、50名参加のもと、伊達市内の「ふるさと会館」において「カラオケと歌謡ショー」も開催されました。会員によるカラオケ大会では、笑顔があふれ、避難生活をひと時忘れることができました。

この2つの事業は、社会福祉法人福島県共同募金会の赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金 住民支え合い活動」助成事業を活用して行われました。

\*福島地区なみえ交流会  
会長 今野正悦 TEL 090-3756-6556



皆さまの身の回りにおける楽しい話題、変わった話題などの情報を募集しています。

TEL 0243-62-4731

## やっぱり楽しい!

11月11日に、会津若松市内の錦町内会館において、日本赤十字社福島県支部などのご協力のもと、会津地方なみえ会「いも煮会」が開催され、会員36名が参加し、楽しいひと時を過ごしました。

また、23日には、社会福祉法人福島県共同募金会の赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金 住民支え合い活動」助成事業を活用し「晩秋の名物『復興なみえ町十日市祭』参加事業」を開催し、総勢15名でバスの旅と十日市を楽しみました。「会場へ向かう時間をみんなとバスで一緒に過ごすだけでもすごく楽しい。十日市で久しぶりの“なみえの味”も味わえて満喫です。」と参加者からうれしい声が聞かれました。

\*会津地方なみえ会加入ご希望の方は、  
会長 鈴木宏孝(やよい食堂) TEL 090-2909-6133  
副会長 亀田女子(仙台屋) TEL 090-6789-2621  
までご連絡ください。



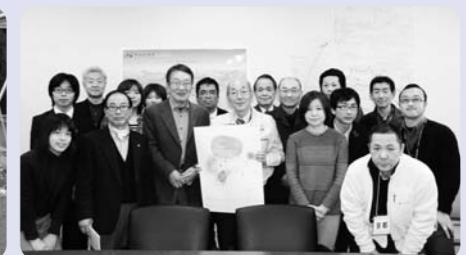
## ありがとうございました



秦野名水ロータリークラブ(神奈川県秦野市・会長 諸室常平さん)様から義援金が届けられました。



12月6日、株式会社クボタ様からミニ耕運機2台が本宮市高木仮設住宅へ寄贈されました。



原水爆禁止日本協議会様から仮設住宅へカレンダーを寄贈していただきました。